



第48号

新潟市秋葉区新津東町
1丁目12番9号
新津工業高等学校内
同窓会事務局
TEL0250(22)3441



御挨拶

同窓会長 高塚 則明

同窓会会員の皆様には、お褒
わりなく健やかに過ごごしの事
と拝察いたします。

九月十九日から仁川アジア大
会が開催され、私のようにテレ
ビの前で選手の活躍に一喜一憂
された方も多かったのではない
でしょうか、金メダル四十七個、
合計二百個のメダルを獲得しま
したが「厳しい結果」という総
監督の言葉のように、東南アジ
ア、中東アジア勢の台頭が目立
ち、さながら近年の我が国を取
巻く経済状況と同じ様相を感じ
ておりました。

この秋の叙勲において第十三
代校長 高桑利和先生が長年公
務などに尽くした功績を称えら
れ、瑞宝小綬章を受章なされま
した、おめでとうございます。

先生には昭和五十一年からの
五年間と平成八年・九年の二年
間、二度にわたりご指導をいた
だきました。

柔道部がインターハイに出場
した際には同窓生と一緒に現地
まで応援に駆け付けていただき
等、同窓会活動にも格段のご理
解と積極的なご協力を頂きまし
た、あらためて感謝申し上げます。
高桑先生には、次回の会報
に思い出話と叙勲のお話をお願
い致したいと思っております。

今年五十二周年の新津工業高
校は、百八十二名の新入生を迎
え、全校生四百七十三名が、教
職員七十七名の皆さんと共に、
生徒一人一人が夢と目標を持つ
て勉学に邁進して、高度なもの
づくりと実践的な技能・技術の

習得を目指しており魅力と特色
のある工業高校を益々盛りたて
ています。

また、昨年の卒業生百四十三
名は、六七・八%の生徒が工業
の専門性を生かした職場に就職
をしています、また進学では大
学進学者も増加をしています。

学校が目指している「就職に
強い新津工業」「進学にも強い
新津工業」が、着実な成果を上
げてきているものと嬉しく思っ
ています。

また各種資格や検定にも豊富
な実習時間、小人数の実習指導、
熟練技能者による直接指導、産
業現場での実習などで合格者数
が増加しています、あらためて
後輩諸君の努力と、教職員の皆
様のサポートとご指導に感謝を
申しあげます。

結びに会員の皆様には、今後
とも建設的なご提言をはじめ、
ご理解とご支援を頂きますよう
お願いを申しあげて、ご挨拶な
らびに報告とします。



御挨拶

学校長 熊谷 秀則

枯れ野の遠くに、ぽつかりと
日の当たる山が見えます。同窓
会の皆様には、益々御健勝のこ
とと存じます。日頃から本校の
教育活動に御理解と御支援を賜
り、厚く御礼申し上げます。

さて、本校は、高度なものづ
くり、実践的な技能・技術の習
得を目指す特色ある工業高校と
して生まれ変わり、力強く歩み
を進めています。生徒は「挨拶

の「新津工業」と言われるほど礼
儀正しく、学習に部活動にと熱
心に取り組んでいます。今年度
も、バドミントン部の二十四年
ぶり地区大会優勝、柔道部・水
泳の北信越大会出場、溶接の関
東甲信越大会優秀賞、高校生も
のづくりコンテスト北信越大会
木材加工部門優勝・準優勝、同
旋盤部門敢闘賞、全国若年者も
のづくり競技大会敢闘賞、マイ
コンカントリー全国大会出場、
技能五輪出場など、目覚ましい
活躍をしています。また、技能
検定等の合格者も順調に伸び、

県技能競技大会では、シーケン
ス制御、大工工事、普通旋盤、
フライス盤、電子機器組立の五
種目で見事一位となりました。
就職でも十一月初めに学校幹旋
就職希望者全員が内定するなど
健闘しています。生徒の努力と
教職員の指導の賜物です。

一方、新津・五泉地域の中学
三年生の減少を受け、生産工学
科が来年度から学級減となりま
した。誠に残念ではありますが、
学校設定科目や企業と連携した
新しい取組を始め、特色化を進
めます。四学科それぞれの一層
の充実を図ってまいります。

来年一月号の『工業教育』と
『東京新潟県人会報』に本校の
記事が掲載されることになりま
した。県内外から注目されてい
る証と思えます。今後とも教職
員力を合わせ、生徒が生き生き
と輝き、地域から信頼される学
校づくりに努めていく所存です
ので、皆様から変わらぬお力添
えをお願いいたします。

2014 飛翔祭

「飛翔祭」盛大に開催

10月25日(土)飛翔祭が開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くの方が開祭時刻の10時を待っておられるほどの盛況ぶりでした。

各科の工夫を凝らした実習実演や職場体験のパネル展示、マイコンカーラリー、バンド演奏や、ペーパーウエイトなど製作品の販売も盛況でした。そして恒例になりましたPTAの皆さんによる飛鍋も盛大に開催されました。皆さんお疲れ様でした。



平成26年 6月発行

今年度の実習・課題研究も本格稼働！ ～日本建築科の実寸大家造りもスタート～

早いもので今年度も2か月余が経ち、実習ローテーションが2巡目に入ったり、3年課題研究も各テーマに沿った研究等が本格稼働しています。

また、工業マイスター科、生産工学科、ロボット工学科は、実習の一環で6月にそれぞれ工場見学を実施し、生の産業現場を体験します。

日本建築科では、新しい実習室で、今秋の実寸大の家造りに向け、3寸5分の柱で作業を開始。また、新潟大学工学部とコラボした「三条ポケットパークづくり」や「栃尾表町の雁木づくり」プロジェクトにも参加させていただいています。

今後も、本校と産業界、行政、大学、NPOなどが連携し、4学科それぞれの充実を図ります。



【実寸大の木組み】

【型枠づくりに協力した公園のベンチ】

学校だより
ひこばえ
より

平成26年 9月発行

台湾を訪問し「空飛ぶ車椅子」を寄贈！

8月20日(水)～23日(土)の日程で、校長協会工業部会主催の東アジア高校生海外研修が行われ、工業マイスター科3年の荻原圭佑君、落合一聖君、加藤遼君、基村祐輝君の4人が参加しました。

4人を含む工業マイスター科、生産工学科の生徒19名は、課題研究の中で、福祉施設から中古の車椅子を譲り受け、修理してアジア諸国に寄贈する「空飛ぶ車椅子」の活動に取り組んでいます。

4人は、今回の研修に合わせ、台湾のボランティア団体代表の方に直接お会いし、4台の車椅子を寄贈しました。とても喜んでいただき、生徒は「新津工業で学んだ技が社会の役に立つことを実感できて

良かった」「今後も続けたい」と語っています。

校歌の一節「工業を以て人を益せん」の精神をこれからも大切にしたいものです。

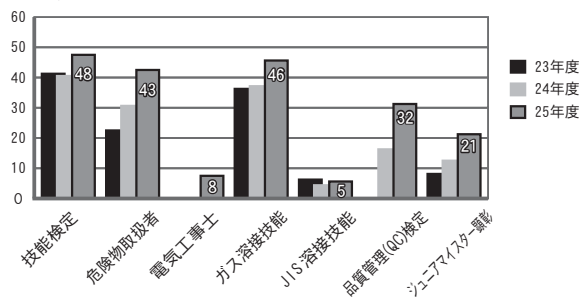
【贈呈式後の記念撮影】



平成26年 6月発行

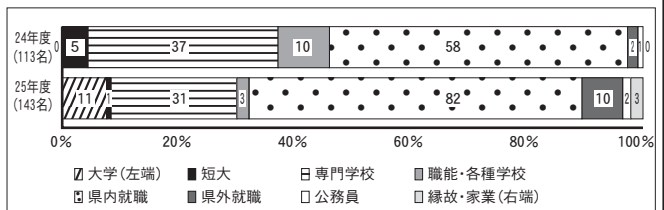
技能を磨き、資格・検定に挑戦しよう！

技能系資格・検定の合格者数(過去3年)



平成26年 5月発行

平成25年度卒業生の進路状況報告



【卒業時の進路決定状況(グラフ中の数字は人数)】

平成25年度の卒業生143名の進路状況がまとめられました。(詳細は、<http://niitsuk-h.nein.ed.jp>、学校ホームページをご覧ください。)

工場見学



工場見学

3年1組 榑 征弥

今回、工場見学で株式会社新潟造船を見学してきました。

会社の印象は、思っていたよりも大きな会社でした。

最初に、目に飛び込んで来たのは、入口付近にある大きなクレーンでした。私は、とても圧倒され「すごい」の一言しか言葉が出ませんでした。

見学が始まり最初に見学したのは、部品をレーザーやプラズマなどで切断したり、溶接などの加工を施している所でした。次は、外に出て船自体を組み立てて最後の工程をしているドライドックという所に行きました。そこは、入口から見た大きなクレーンがあった場所です。最後に見学したのは、作った船や修理した船をおいておく場所でした。そこには、海上保安庁の船もありました。株式会社新潟造船では、船を作るだけではなく、多くの船を修理しているそうです。また、日本の船だけでなく外国の船もたくさん作っているそうです。

私達が工場見学に行った時は、7月完成の船が2艘ありました。船を作るのは、時間がかかっていてとても大変そうでした。

工場見学をして会社の雰囲気や仕事の大変さを知りました。この経験を今後の進路実現に役立てていきたいと思えます。



山之内製作所様を見学して

3年2組 江口 守

今回、3年2組の生産工学科が見学させていただいたのは、山之内製作所様です。

山之内製作所様では、主に飛行機のエンジン部品を製作しており、わずかな欠陥や加工精度が何百人もの命を落とすとしてしまうような事故になりかねませんので切削加工が終わった後は、バリ取りロボットによりバリを取った後、さらに手作業によって細かいバリ取りをされているそうです。その手作業は、何年も経験を積んできた熟練の方によって行われているそうです。バリ取りが終わった製品は三次元測定器によって精密に検査されていました。さらに温度によって誤差がでないように検査をする部屋は室温を一定に保っていました。1つの製品を作るだけでも本当に細かいところまで気を使っている感じが思いました。

山之内製作所様には学校で学んだこともないような機械や測定器が有り、1つ1つの製品に込められている気持ちの大きさなど勉強になるようなことがたくさんありました。将来、できることなら山之内製作所様のようにな向上心が高く、難しいことに挑戦していくような企業に就職したいと強く感じました。



工場見学

3年3組 関谷 捷太

今回、私たちが見学させていただいた工場は、北越工業株式会社でした。北越工業は、とても大きな会社でした。会社の工場の周りには、たくさん木が植えてありとてもきれいな会社でした。

北越工業では、コンプレッサというものを作っています。コンプレッサにも色々な種類があります。エンジンコンプレッサやモータコンプレッサなどがあります。コンプレッサは特に建築現場などで使用されています。

工場の中に入ってみると、見た事のない部品や機械などがいたるところに置いてありました。また工場では私たちが普段実習で行っている溶接や旋盤などがあり、実習などで行っている事が工場でもやっています。これからの実習はもっと今まで以上にしっかりと取り組んでいこうと改めて思いました。それから、工場には資格を取得した人の名前と資格名が掲示されているものがありました。私はそれを見て、入社してから勉強はしなければいけないんだなと思いました。

最後に、今回北越工業株式会社を見学させていただきとても勉強になりました。今回の見学を進路に生かしていきたいと思えます。



工場見学

3年4組 熊倉 大智

3年4組ロボット工学科が今回工場見学に行ったのは「富士通フロンテック株式会社」です。この新潟工場は、同社で唯一国内での生産を行っており、主にATMのユニットやレジ端末などの電子機器の製造、車のトランスミッションの金型の製造などを行っています。

最初に、第一工場のATMのユニットを製造するラインを見学しました。おびただしい数のパーツからなる機器は、バーイン試験や調整を繰り返し、完成します。いろんな人に使われるからこその厳しい検査を行い、品質を向上させていくということがよく分かりました。

次に行った第二工場では、車用のトランスミッションの金型や医療器具の金型、航空部品などさまざまなものを製造していました。無駄なところを薄く削った結果、燃費の向上に成功したそうです。

工場見学で感じたことは、職場の雰囲気がとてもよかったです。皆さんが責任をもって真剣にとり組んでいる様子がひしひしと伝わってきてとても感動しました。

